

スポット受講
詳細は2ページ料金
1000円/回
何回でも可

期 間 令和8年 2月9日(月)～3月23日(月) [全5回]

実 施 場 所 八幡西生涯学習総合センター
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 (27ページアクセス参照)申込・
問合せ先 八幡西生涯学習総合センター
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3
TEL : 641-9360 FAX : 641-9332

時 間 14:00～16:00

応募締切

1月19日(月)

スマートフォンからも
お申込みできます▶

定 員 30名

受講料 3,000円

受講生への
メッセージ

コーディネーター：シルクキュレーター 林 久美子

太古から身にまとうものとして使われてきたシルク。今ではなかなか目にすることが少なくなりましたが、明治以降の近代化の中では官営富岡製糸場は日本の基幹産業として世界遺産に認定され、シルク生産の製糸業は日本の産業を支えてきました。

シルクは、カイコという昆虫がつくる繭から生み出されます。衣裳や道具として人が使ってきた知恵と工夫の結晶を、シルクの歴史や文化、産業、技術の多方面から解き明かします。各回、多様なシルクの品々を手にとって見ていただき、糸繰り実演や体験などを織り交ぜながらご紹介する講座です。

一緒にシルクに触れる時間を楽しんでみませんか。

回数	月 日	テーマ・内容	担当講師
1	2/9 (月)	シルクの魅力 人類において、長い間使われ息づいてきたシルクの魅力を、科学や文化など多方面から実演を含めてお話します。	シルクキュレーター 林 久美子 福岡県築上町出身。元長野県岡谷蚕糸博物館学芸員。社会教育士。2024年よりシルクライン代表。シルクの歴史と文化と産業と技術をつなぐシルクキュレーターとして活動中。
2	2/16 (月)	シルクのめぐみはお蚕さんから シルクの始まりは、カイコという昆虫。この昆虫がシルクを生み出す不思議と、その産業についてお話します。	
3	3/2 (月)	日本の絹を生み出す仕事 明治以降の近代化の中で、大産業として発展した製糸業と働く女性たちの姿を、世界遺産の官営富岡製糸場をはじめとした産業からお話します。	
4	3/16 (月)	シルクの文化と歴史 人が身に纏うものとして世界各地に存在するシルク。その歴史と文化、そしてさまざまな技術と人の想いを産地とともにご紹介します。	
5	3/23 (月)	未来へのシルク シルクは現在、服飾のみならず医療分野など多方面への展開が見られます。科学技術と人の知恵と工夫が織りなす未来への展望をご紹介します。	